

北海道旅行記 その 2

2014.6.5

小樽港 4 : 30 着、稚内に向けて北上する。車も少なく、道も良いので 70～80KM とスピードが出てしまう。雄冬海岸付近は日本海に断崖のようになった地形なので、トンネルの連続。トンネル工事で 22 : 00～7 : 00 の夜間通行止め区間があり 25 分間待たされる。今日は途中の観光地の見物は礼文島の帰路に回して、宗谷岬に向かう。小樽を出てから小平町の「おびら練番屋」まで道の駅は無かった。重要文化財の「旧花田家番屋」の隣にある。練で栄えた町だ。

懐かしい暑寒別岳



道の駅おびら練番屋の食事



重要文化財 花田家番屋



暑寒別岳も見えます



遠くに暑寒別岳も望める雰囲気の良い所だ。8:20 だと言うのに食堂も営業している。道の駅では珍しい、営業努力に感激する。敬意も含めて食事をする。鯨丼が950円、ほっけすり身汁が350円、鯨ルイベ刺しが650円、合計1950円と小生としては大奮発。鯨丼が二重〇の美味しさ。江差の宿で食べて以降の美味しさ。カズノコが沢山のっているのも好感が持てる。帰路に又寄って食べたい心境になる。何と此处からは道の駅がたて続きに4つあった。(道の駅は必ず寄る小生ですから皆寄りました) 13:00 に宗谷岬着。

道が良いので80KM 走行、
矢印は積雪時の道路の幅を表示



宗谷岬



此处は2度目ですが、1月に最南端の「波照間島」に行ったので、最北端の宗谷岬に寄って、シールを車に2つ貼りたかったので。ノシャップ岬、稚内公園(氷雪の門、南極越冬隊の樺太犬、皆さんこれが最後です、さいごです等の碑)を見物。利尻山も少しかすんでいましたが、所々で見られました。

最北端らしい店名



最北端と最南端が並びました



最後に明日の5日間置いておく無料駐車場の下見をしてから、今日の宿の稚内YHへ15:45に到着。このYHは百名山で利尻山に登った時に2日泊まったのですが、改装してYHとは思えないビジネスホテル並みになっていました。ツインの部屋が貸切です。早期予約でかつ前払いで振込みしたので何と素泊まりで2740円です。

ノシャップ岬



ホテル並みの稚内YH



明日は6:30発のフェリーで礼文島です。今日は400KM近く走りましたが、道が良くて、信号も少なく、車も少なかったなので、運転が楽でした。